



しずおかフィナンシャルグループ

SFG REPORT

2023年3月期 営業のご報告

2023 June

クロスオーバー
Xover
～新時代を拓く

新たな時代を切り拓くために

本年4月、しずおかフィナンシャルグループでは、持株会社体制に移行して初めてとなる第1次中期経営計画「Xover ～新時代を拓く」をスタートさせました。

いま私たちは、人口減少や高齢化といった従来からの変化に加え、コロナ禍を経て急速に進化したデジタル化・脱炭素化等が相まって過去に経験したことがない大きな構造変化に直面しています。一方で、金融機関を取り巻く環境は、金融緩和と政策の長期化や異業種の銀行業参入が進むなど、不可逆的かつ非連続な変化により、将来の予測が困難な時代を迎えています。

こうした環境認識のもと、新体制で臨む第1次中期経営計画では、ステークホルダー（地域・お客さま・役職員・株主）に、「未来世代」を新たに加え、地域の未来にコミットし、地域の成長をプロデュースしていく決意を込めました。くわえて、2030年度のめざす姿を「すべてのステークホルダーがサステナブルかつ幸福度が高まっている状態」と定め、地域やお客さ

まの課題解決を通じた新たな社会価値の創造に向けた取り組みを実践し、地域とグループ双方の持続的な成長を実現するためにどう行動すべきかを明確に示しております。

さらには、社会価値創造の効果を計る「社会インパクト指標」と企業価値向上をめざすための「エンゲージメント・財務指標」からなる「サステナビリティ指標」を新たに導入し、その達成に向け4つの基本戦略「地域共創戦略」「グループビジネス戦略」「トランスフォーメーション戦略」「グループガバナンス戦略」を展開してまいります。この第1次中期経営計画の概要は本誌でお示ししているとおりです。

また、本誌では、静岡銀行グループとして最後となりました第14次中期経営計画「COLORS ～多彩～」の最終年度（2022年度）における活動の振り返りについてもお伝えしています。

一例を紹介しますと、2022年10月に移行した持株会社体制のもと、地域企業における労働力不足や、それを補うための省人化・自動化などの諸課題に対処するため、ソフトウェア開

発や人材派遣に強みをもつ株式会社ティージェイエスを完全子会社化しました。

このほかにも、地域企業のSDGsや脱炭素化の促進、ベンチャービジネス、事業承継など地域やお客さまのニーズを起点にグループ各社が連携して課題解決に力を注ぎ、第14次中期経営計画のビジョンである「地域のお客さまの夢の実現に寄り添う課題解決型企業グループ」の実現に向け、各事業を推し進めてまいりました。

これまでの常識を覆すような社会変化が次々と起こるVUCAの時代では、過去の延長線上に必ずしも未来があるわけではなく、時代の変化に合わせて柔軟に軌道修正しながら、めざすべき未来像に向かっていくことが大切になります。総合金融機能を提供する企業グループとして、いかなる時代にあっても地域の発展なくして、私どもの成長はありません。私たちは、新しい中期経営計画のもと、お客さまの課題解決力に磨きをかけ、未来につなぐ新たな価値を創造するための

果敢な挑戦を続けることで希望あふれる「新時代」を切り拓いてまいります。

皆さまにおかれましては、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

Contents

- | | |
|--|-------------------------|
| 1 Top Message | 10 グループインフォメーション |
| 3 第1次中期経営計画 | 11 サステナビリティへの取り組み |
| 5 グループ会社紹介
静岡銀行／静岡経営コンサルティング
静岡リース／静岡キャピタル
静岡ティーム証券 | 16 営業のご報告
17 株主の皆さまへ |

社長 柴田 久



第1次中期経営計画 [期間 2023～2027年度]



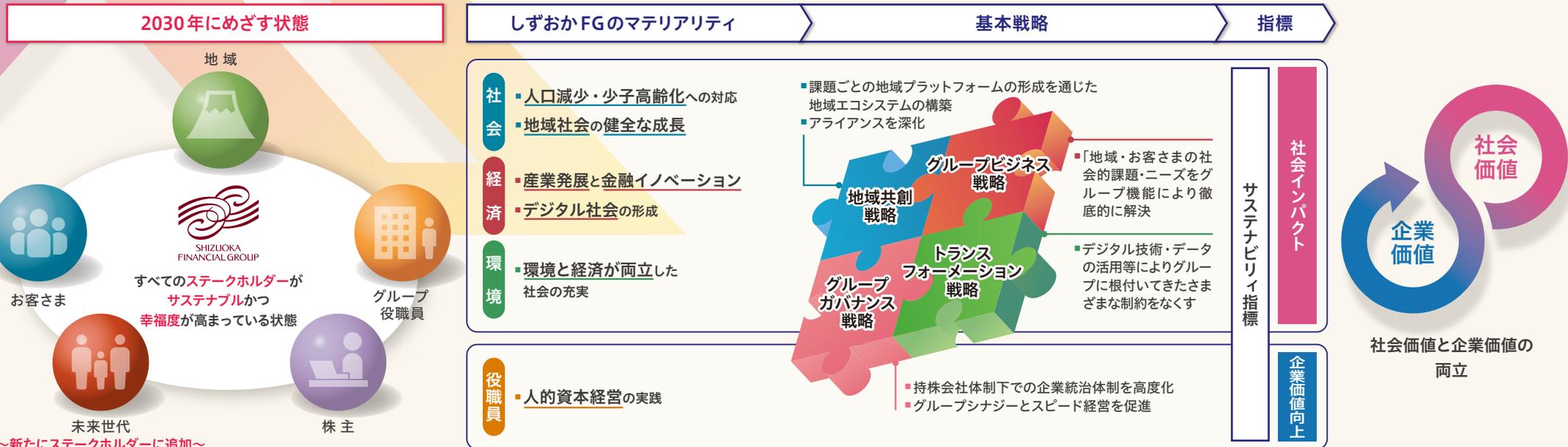
第1次中期経営計画「Xover ～新時代を拓く～」は、将来めざすべき未来像を描き、それを実現するための計画をバックキャスト思考で策定しました。

持株会社体制で臨むはじめての計画として、すべてのステークホルダーと新たな価値を共創しながら、不確実な時代を切り拓き、豊かで持続可能な未来を描くことをめざします。

サステナビリティ指標		指標	2027年度目標			
社会価値創造	社会インパクト	めざす指標	<ul style="list-style-type: none"> 静岡県内人口の社会増減率 静岡県内実質総生産 (GDP) 静岡県内の温室効果ガス排出量削減率 	<ul style="list-style-type: none"> ≫ 継続的に増加 ≫ 持続的発展 ≫ 2013年度比▲46% (2030年度) 		
			企業価値向上	コミットする指標	<ul style="list-style-type: none"> お客さまのグループ取引満足度※1 グループ役職員のエンゲージメント※2 カーボンニュートラル (Scope1、2) 	<ul style="list-style-type: none"> ≫ 前年度比プラス ≫ 4.0以上 ≫ 達成 (2030年度)
					<ul style="list-style-type: none"> 健全性 	<ul style="list-style-type: none"> ≫ 連結CET1比率※3
<ul style="list-style-type: none"> 効率性 収益性 	<ul style="list-style-type: none"> ≫ 連結OHR ≫ 連結ROE ≫ 連結経常利益 	<ul style="list-style-type: none"> ≫ 55%程度 ≫ 6%程度 ≫ 900億円以上 				

※1：お客さまアンケートにより「NPS」で計測。NPS…Net Promoter Score 家族や友人、周りに商品やサービス、企業そのものをすすめたいと思う度合、推奨度
 ※2：「仕事での充実感」「仕事への適応感」「職場への満足感」「上司への満足感」「会社へのロイヤリティ」の5要素の平均を総合満足度として捉え計測 (1～5で評価)
 ※3：パーゼルIII最終化ベース

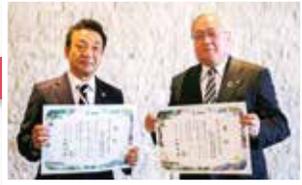
[10年ビジョン] 地域の未来にコミットし、地域の成長をプロデュースする企業グループ
 [第1次中期経営計画ビジョン] 未来へつなぐ新たな価値を創造する課題解決型企業グループ
 ～持株会社体制への移行を契機に、しずおかフィナンシャルグループが総合金融グループとしてお客さまの課題解決力に磨きをかけ、新たな価値を創造していく～





頭取 八木 稔

2023年3月1日、静岡銀行は創立80周年を迎えました。これもひとえに地域、お取引先、株主の皆さまの変わらぬご支援のおかげであり、心から感謝申し上げます。これからも地域あってこそ地域金融機関という本質を見失わず、地域のあらゆる課題解決に全力で取り組んでまいります。そして、グループ体となって新たな社会価値を生み出し、地域とともに持続可能な未来を切り拓いていきたいと思いをします。



TOPICS

サステナブルファイナンスの推進

2021年1月に本邦初の中小企業向けポジティブ・インパクト・ファイナンスの提供を開始し、2023年3月末までに累計43件・約140億円を実行しています。また、静岡県信用保証協会と連携して「SDGs支援保証制度」を開発。2022年4月に取扱を開始して以来、保証承諾件数は3,000件を超えています。さらに、本制度の利用を県内全域に広めるなど中小企業におけるSDGs推進支援の取り組みが評価され、環境省が実施する「ESGファイナンス・アワード・ジャパン」で「金賞（環境大臣賞）」を受賞しました。

地方銀行とのアライアンスの取り組み

地域とともに持続的な成長を実現するため、提携金融機関と互いの経営資源や地域情報を共有しながら、幅広い分野での連携施策に取り組んでいます。



静岡・山梨アライアンス 2022年度下期のおもな協業事業

地方創生	<ul style="list-style-type: none"> ●「静岡・山梨物産展 in GREEN SPRINGS」の開催 ●個別商談会の開催(プレミアムウォーター、NEXCO 中日本 SA・PAテナント)
ファイナンス	<ul style="list-style-type: none"> ●リコーリース(株)への「サステナビリティ・リンク・ローン」の実行
その他	<ul style="list-style-type: none"> ●人事交流



静岡・名古屋アライアンス 2022年度下期のおもな協業事業

産業変革	<ul style="list-style-type: none"> ●「水素Webセミナー～世界も注目する次世代燃料としての魅力～」の開催
DX	<ul style="list-style-type: none"> ●「インボイス対応とIT導入補助金に関するオンラインセミナー」の開催
その他	<ul style="list-style-type: none"> ●人事交流



営業エリアが隣接する3行(静岡・山梨中央・名古屋)が連携し、変額保険の共同開発、お客さまの事業展開を支援するセミナーの開催、災害、防災関連での連携強化などに取り組んでいます。

- 変額保険「つみたて果実」の共同開発
- 海外ビジネスセミナーの開催
- 「大規模災害発生時の預金払戻にかかる相互支援協定」を締結
- 「CS勉強会」の開催
- 「総務・防災アライアンス会議」の開催



「大規模災害発生時の預金払戻にかかる相互支援協定」を締結(2023年3月)



「しずぎん加盟店サービス」の提供開始

2023年4月、「しずぎん加盟店サービス」の提供を開始しました。静岡銀行では、VisaとMastercardのライセンスを取得するとともに、株式会社ジェーシービーとフランチャイズ契約を締結。これにより加盟店では、国際ブランドのクレジットカードをはじめ、大多数の電子マネー、QRコード決済に対応いただけます。



社長 山越 良二

日ごろから多くの企業ならびに経営者の皆さまより、事業経営のパートナーとしてご用命いただき、誠にありがとうございます。

これからも、常にお客さまに寄り添いながら、さまざまな経営課題に「最適・最速・最新」のソリューションでお応えしていきます。そして、私どもの強みである高度な専門性と広範なエリア対応力、軽快なフットワークにさらに磨きかけ、役職員一丸となって取り組んでまいります。

TOPICS

事業内容

企業を取り巻く経営課題に的確で高品質なコンサルティングサービスを提供します。

M&A	事業承継、成長戦略、グループ再編などの戦略的なM&A提案から案件の完了まで、最適なM&Aの実現をサポート
事業承継	「事業承継プラン」の策定を通じて、スムーズな事業承継の実現をサポート
経営支援	さらなる事業拡大を目的とした不採算事業の見直しや、原価低減による経営改善など、さまざまな経営課題の解決をサポート
相続関連	将来起こり得る相続を見据えた遺言の作成支援や相続税対策などのサポート、相続人に代わって相続手続きを行う遺産整理業務の提供
規格認証取得支援	ISOをはじめとする各種規格の認証取得支援
代金回収支援	お客さまに代わって代金回収を行う「しずおかワイドネットサービス」「しずおかコンビニ収納サービス」を提供

売上・コンサルティング件数の推移



2000年7月、地域金融機関で初めてコンサルティングサービスを提供するグループ会社として営業を開始して以来、地域企業のビジネスパートナーとして、高品質なコンサルティング業務を提供しています。

近年は、複雑化する社会・経済情勢を背景にお客さまの経営課題が多様化するなか、サービスメニューの拡充を図るとともに、コンサルタントの人員を増強し、お客さまの課題解決に資するソリューションの提供に取り組んでいます。

コンサルティング事例紹介

M&A事例

譲渡企業・H社(江戸時代創業の老舗貿易商社)
譲受企業・B社(福島県を地盤とする物流・製造販売業)

静岡県中部地区に本社を置くH社は、日本茶の輸出業務を主力に世界各地に独自のコネクションをもたれていましたが、社長は後継者不在を理由に廃業を検討されていました。そこで、M&Aを活用した事業の継続を提案したところ、社長から「おもしろい展開が期待できる異業種企業の承継先を探してほしい」と依頼いただきました。静岡経営コンサルティングが保有する充実したネットワークのもとに候補先を選定し、福島県で物流業を中心に日本酒や野菜の製造販売を営むB社を紹介。その結果、従業員の雇用や既存取引先との関係を維持した形で、M&Aの実現に至りました。現在もH社の社長は経営にとどまり、譲受企業と連携してオリーブオイルの輸入を始めるなど、新たな事業にも挑戦されています。





社長 若林 紀伸

静岡リースでは、情報通信機器や輸送用機器など設備調達のサポートに加え、お客さまが求められるコンテンツを幅広く提供できる企業へと変身すべく、業容の拡大に取り組んでいます。そして、しずおかフィナンシャルグループの一員として、リース業務を通じてお客さまと地域の持続的な成長を支援し、地域経済の活力の向上ならびに新たな価値の創造をめざしています。静岡リースは、来年3月に創立50周年の節目を迎えます。これまでの地域の皆さまのお力添えに心から感謝申し上げるとともに、これからも皆さまのご期待に全力で応えてまいります。

TOPICS

「ESGリース」を活用した地域企業の脱炭素化の推進

環境省が定める基準を満たす脱炭素機器をリースで導入されるお客さまを対象に、国の補助金制度を活用した「ESGリース」を推進しています。静岡リースは、環境省からESGリース促進事業の「指定リース事業者」に採択されており、今後も地域企業の脱炭素化の実現に向けた支援に継続して取り組みます。



ESGリースを活用して導入した設備

エネルギー100%自給自足をめざす(株)ARTHの事業をサポート



オフグリッド型居住モジュール「WEAZER」

2022年11月にオープンした電気や水をすべて自然からまかなうインフラ不要の完全オフグリッド型ホテル「WEAZER(ウェザー) 西伊豆」を運営する(株)ARTH(「第9回 しずぎん起業家大賞」最優秀賞受賞者)の設備導入を支援しました。西伊豆エリアのさらなる活性化と持続可能な社会の実現に向けた同社の取り組みを、グループで連携しながらサポートに取り組んでいます。

営業車両に関するカーボンオフセットを活用した脱炭素化への取り組み

静岡リースでは、従来から営業車両のエコカーへの切り替えや、リース終了物件の適正処理による3R(リユース、リデュース、リサイクル)の促進、廃棄物の削減などに取り組んでいます。こうした活動の一環として、2022年12月、営業車両の走行距離(2021年)にもとづき発生したCO₂排出分(33トン/年)を、東京証券取引所のカーボン・クレジット市場実証事業を通じて購入した「クレジット」により、カーボンオフセットを実施しました。また、オフセット金額(クレジット購入額)と同額の49,500円を「公益財団法人静岡県グリーンバンク」に寄付しました。



公益社団法人静岡県グリーンバンクへ寄付(2022年12月)

「旧金谷中学校跡地活用事業」の優先交渉権を取得

2022年12月、島田市が実施した「旧金谷中学校跡地活用事業」に係る公募型プロポーザルに「トレーラハウスから始まる街づくり」を提案し、優先的交渉権者に選定されました。

地域資源を活用し、関わる「者」・「モノ」に持続可能な社会の仕組みづくりを創出します。



[左] 計画地：旧金谷中学校跡地
[右] 隣接地から臨む大井川と富士山



対象名称	旧金谷中学校跡地
所在地	島田市金谷富士見町3383番1外25筆
敷地面積	54,710.83平方メートル(公簿面積)



社長 久野 託司

静岡キャピタルでは、これまで一貫して株式引受けなどのエクイティファイナンスに携わりながら、お客さまが直面されている経営課題の解決に努め、持続的な事業の発展に向けて支援に取り組んでいます。今後も、地域のお客さまとともに、新たな社会価値を創造し、より良い未来の実現をめざし、一層の努力と挑戦を続けていきます。また、2024年8月に創立40周年を迎えます。これまでのご愛顧に感謝申し上げるとともに、今後も、地域社会のニーズにいち早く対応し、皆さまの信頼に応えてまいります。

TOPICS

ベンチャーキャピタル部門の取り組み

株式公開を志向する未上場企業を支援しています。資金供給にとどまることなく、事業戦略や人材登用、知財戦略、エグジツト戦略など、あらゆる側面からサポートに取り組んでいます。

[2022年度投資実績] 26件 1,216百万円

ベンチャーキャピタル投資担当者の活動

- 静岡キャピタルでは、4名の投資担当者がスタートアップ企業への出資を通じて、出資先の企業価値の最大化に取り組んでいます。また、地域企業とスタートアップ企業をつなげ、地域企業が直面する課題解決に有効なサービス等を紹介しています。
- このほか、スタートアップ企業のピッチイベントにパネリストとして参加し、起業を検討されている方などと交流を図ることで、事業アイデアの立案からブラッシュアップ、さらには仮説検証から資金調達まで、事業の成長支援に取り組んでいます。



経営支援部門の取り組み

2021年1月、中小企業基盤整備機構や地域金融機関、静岡県信用保証協会などと連携し、「静岡中小企業支援6号ファンド」を設立しました。以来、静岡県中小企業活性化協議会の推薦案件を中心に、地域企業への資金供給などを通じて、地域経済のさらなる活性化に取り組んでいます。また、中小企業基盤整備機構が出資し、地域金融機関が主導して運営するファンドとしては、全国で初めて6号目を組成しました。

事業承継支援部門の取り組み

2022年5月に静岡銀行・山梨中央銀行とともに設立した「静岡・山梨みらい成長支援ファンド」を活用し、事業承継、子会社の独立、事業の再構築など、持続的な発展をめざす企業を支援しています。

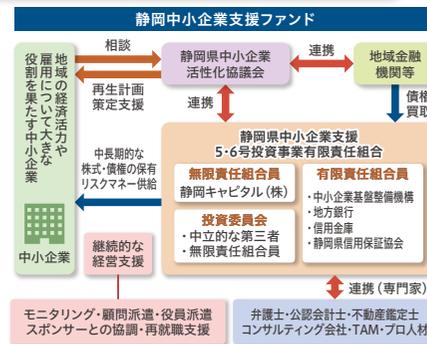
2023年1月以降、外部からの出向者2名を加えて、総勢5名体制で事業承継などに取り組んでいます。さまざまな経歴をもつ静岡キャピタルのメンバーが、外部の専門機関とも連携しながら、多様な経営課題に直面する地域企業と二人三脚で、事業の継続、発展に向けてサポートしています。

投資対象先

- 後継者不在など、事業承継ニーズを有する中小企業等
- 新分野の開拓など、事業の再構築に取り組む中小企業等
- 後継者が未定であっても、相続対策のために一時的に株式の保有を希望される先
- 株式が分散している、あるいは株主から買取りの要請を受けているなど、一部の株主からの買取りの必要性が生じている先など



[2022年度支援実績] 5件 712百万円





社長 大石 実

2000年12月の設立以来、おかげさまで、多くのお客さまにご支持いただきながら、静岡県内15拠点、神奈川県内2拠点、山梨県内1拠点と充実した店舗ネットワークを構築し、地銀系証券会社としてトップ水準の収益、預り資産残高を誇る企業へと成長しました。「貯蓄から投資へ」の流れが進展するなか、お客さまの最善の利益を追求するとともに、最適なサービスの提供を第一に心がけ、お客さまの夢(ライフプラン)の実現に向けてサポートを続けています。今後も、お客さまにしっかりと寄り添い、「一人ひとりに最適なポートフォリオの提案ができる証券会社」をめざしてまいります。

TOPICS

預り資産残高増加への取り組み

お客さまの資産増加と利益拡大を最優先に考え、最適な商品やサービスをご提案する営業態勢の構築に取り組んでいます。2020年10月に取扱を開始した投資一任サービス「しずぎんラップ」では、2023年3月末までに契約件数9,320先、残高は416億円に達しています。また、株式投信、しずぎんラップを中心に預り資産残高が増加し、2023年3月末の残高は1兆円を突破しました。



重要情報シートの導入

金融商品やサービスに関する重要な情報をお客さまによりわかりやすく、理解いただけるよう、2023年3月に投資信託の「重要情報シート」を導入しました。本シートは、商品の具体的な内容やリスク情報に加え、お客さまにご負担いただく費用を記載することで、商品概要の明確化を図っています。また、公募仕組債(コーラブル債)の「重要情報シート」は、2023年1月から導入しています。



「NISA口座開設キャンペーン」の実施

2024年1月から、新NISA制度(少額投資非課税制度)が始まります。静銀ティーエム証券では、この機会にNISA口座を開きいただき、お客さまの資産形成や資産運用にお役にいただくため、「NISA口座開設キャンペーン」を実施しています。



- 期間/ 2023年5月8日(月)～9月29日(金)
- 内容/ 期間中にNISA口座開設を申し込み、手続きを完了されたお客さまに、現金1,000円をプレゼント

※対象: 一般NISA、つみたてNISA(再開を含む)
対象外: ジュニアNISA
くわしくは当社営業店またはサポートセンターまでお問合せください。

株式会社ティージェイエスの株式を取得(完全子会社化)

2023年2月、ソフトウェア開発と人材派遣を手がける株式会社ティージェイエス(TJS)の株式を取得し、完全子会社化しました。TJSは、製造業事業者の生産管理や流通事業者の販売管理など、静岡県内を中心に幅広い分野において、顧客ニーズに合わせたオーダーメイド型のソフトウェア開発に取り組んでいます。また、人材派遣事業においても、ITや医療事務をはじめ多くの登録スタッフを抱え、静岡県内大手の人材派遣会社として、豊富な実績や顧客基盤を有しています。今後は、しずおかフィナンシャルグループの営業基盤とTJSの強みであるIT・DX、人材面のサポート力をかけ合わせ、地域の課題解決に取り組み、持続可能な地域社会の実現に貢献していきます。

株式会社ティージェイエスの会社概要

本社所在地	静岡県静岡市清水区平川地13番9号
代表者	山本 規政(6月21日付就任)
資本金	1,200万円
設立年月日	1979年10月12日
従業員数	384名(2022年3月末時点)

※本件は、2021年施行の「改正銀行法」にもとづき、しずおかフィナンシャルグループが「他業銀行業高度化等会社」の認可を取得した初の取組事例となります
*銀行持株会社の子会社のごことで、デジタル技術の活用により銀行または銀行の利用者の利便性向上に資する業務を営む会社もしくは地域の活性化に資する会社のこと

地域がはじまる場所になる。 しずおかフィナンシャルグループ × dentsu 「SFGマーケティング株式会社」を設立

地域における各種マーケティング支援を行う「SFGマーケティング株式会社」を2023年7月に電通グループとともに設立することを決定しました。新会社では、これまで整備を進めてきたデータ分析・活用のための基盤や、高精細な属性・決済情報などの活用に加え、電通グループが保有するマーケティングに関する知見やノウハウを活かし、従来の金融ビジネスの枠を超えたサービスの提供をめざします。また、マーケティングをはじめ多面的に地域の社会課題の解決に資する事業拡大を図ることで、ヒト・モノ・カネ(情報)を呼びこみ、地域の活性化につなげていきます。

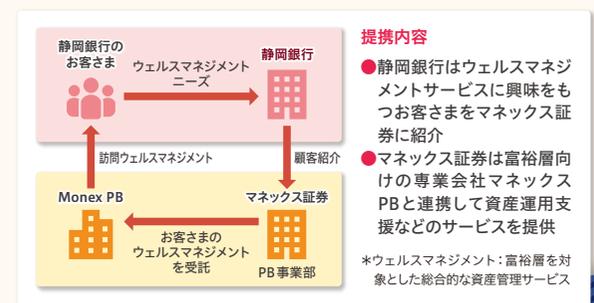
SFGマーケティング株式会社の概要

本社所在地	静岡県静岡市清水区 草薙北2番1号
代表者	澤井 康人
資本金	1億円
設立日	2023年7月3日(予定) ※関係当局の許認可等が得られることを前提として準備を進めます
事業内容	●地域・取引先のマーケティング支援業務 ●広告代理業務 ●広告媒体販売業務など
株主	(株)しずおかフィナンシャルグループ80% (株)電通グループ20%

※SFGマーケティング株式会社は、他業銀行業高度化等会社として、しずおかフィナンシャルグループの連結子会社として設立します。

静岡銀行 × MONEX ウェルスマネジメント事業に関する業務委託契約を締結

2023年2月、静岡銀行とマネックス証券は、ウェルスマネジメント事業に関する業務委託契約を締結し、静岡銀行の富裕層向けサービスの拡充に連携して取り組んでいます。静岡銀行では、このほかにも本部内に専門チームを設置し、異業種企業と連携しながら、非金融を含めてサービスの提供に取り組んでいます。





環境への取り組み

気候変動への対応

2022年11月、「GXリーグ基本構想※1」への賛同表明や、「Partnership for Carbon Accounting Financials (PCAF) ※2」への加盟など、気候変動への対応を重要な経営課題と位置づけ、グループ一体となって脱炭素化の実現に向けた取り組みを推進しています。

※1 グリーン転換（GX）に向けた経済社会システム全体の改革のための議論と新たな市場創造（排出権取引）のための実践を行う場として設立

※2 投融資先の温室効果ガスの排出量の測定・開示を標準化することを目的として発足した国際的な機関

温室効果ガス (GHG) 排出量の削減実績



カーボンニュートラル達成

サステナブルファイナンスの推進

グループの総合金融サービスやコンサルティング業務を通じて、地域企業のSDGs経営の高度化を支援するなど、持続可能な社会の実現に向けてサステナブルファイナンスの推進に取り組んでいます。

	2022年度目標	2022年度実績	2022年度進捗率
サステナブルファイナンス	1,150億円	3,483億円	302%
うち環境関連ファイナンス	575億円	1,750億円	304%

2030年度までの目標

2兆円

(うち環境関連ファイナンス1兆円)

「小さな親切」運動

郷土の自然環境を守り、次世代につなぐため、静岡総合サービス(株)内に静岡県本部を設置し、里山づくりやクリーン作戦などの環境保全活動に取り組んでいます。

沼津愛鷹公園内の植樹と育樹



菊川河川敷の清掃活動



人的資本への取り組み

カルチャー&ウェルビーイングイノベーション1.0

2017年度から取り組む「ワークスタイル・イノベーション」を発展させ、役職員一人ひとりが、すべてのステークホルダーの幸福に責任と誇りを持ち、働きがい・やりがいを感じながらめざす姿に向かえるよう、文化・伝統の継承と革新に挑戦しています。

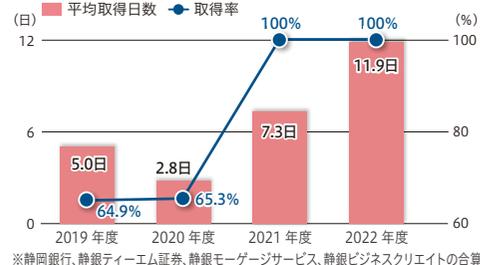
おもな取組事例

- しずおかフィナンシャルグループと地域の歩み、歴史のリカレント学習
- タウンミーティングの実施(経営陣と役職員による対話)
- 「～さん」付け運動(役員を含めて役職名ではなく「～さん」呼びの励行)
- ヘルスキーパー(視覚障がい者によるあん摩マッサージ)制度の導入
- 感謝と称賛を送り合う社内SNS「Cheer*Chat」のグループ全社での展開



男性の育児休業取得率

男性の本質的な育児参画を支援し、だれもが家庭とキャリアを大切に働ける企業風土の醸成に努めています。



指導的地位にある女性比率 (課長職以上の役職等)

「2024年3月末までに22%以上」「2031年3月末までに40%以上」をめざし、女性のキャリア開発支援に取り組んでいます。



同性パートナーシップ制度の導入

2023年3月、グループ役職員とそのパートナーを対象に、申請された同性パートナーを「配偶者と同様」とするとともに、パートナーの子等は役職員の「子」とみなし、社内制度や福利厚生を適用します。



「役職員の夢・行動と企業理念・経営戦略の一致」に向けた取り組み

2023年4月からスタートした第1次中期経営計画「Xover～新時代を拓く」の浸透と、「役職員一人ひとりの夢・行動と企業理念・経営戦略の一致」を実現するための取り組みを実施しています。

おもな取組事例

- 定期的に上司と部下が1対1でミーティングを行う「1on1」の効果を最大化するためのツール「マイ・サステナブック」の導入
- 「サステナ研修」の実施(第1次中期経営計画ならびにパーパス経営・サステナビリティ・トランスフォーメーション(SX)経営の理解促進に向けた研修)





地域活性化に向けた取り組み

第9回「しずぎん起業家大賞」の実施

地域経済の新しい時代を切り拓くフロントランナーとして、革新的・創造的な事業に取り組む起業家を応援する「しずぎん起業家大賞」。2022年度は「新たなチャレンジが、地域社会の豊かな未来を創る」をテーマに事業プランを募集し、応募総数80件の中から受賞者5先を決定しました。

部門別優秀賞

- スタートアップ部門
tantore (株) (豊橋市)
- グローイングアップ部門
(株) ソミックトランスフォーメーション
(浜松市)

特別賞

- (株) gosea's (静岡市)
- (株) プレツパース (浜松市)

受賞コメント

これからも企業や行政と連携しながら、西伊豆エリアのさらなる活性化に向けて注力していきたい

最優秀賞 (株)ARTH (東京都中央区) 代表取締役社長 高野 由之 氏

事業計画/エネルギーを自給するオフグリッド型建物モジュール「WEAZER」による西伊豆エリアの面的活性化

受賞理由/完全オフグリッドの実現により、環境との共生および地域活性化を図るものであり、持続可能な社会へ向け、脱炭素化や災害時対応等幅広い価値の提供が期待できる

第8回 地方創生全体会議を開催

2022年10月、静岡、山梨両県の連携促進などをテーマに「地方創生全体会議」を開催。両県内の首長や地方創生担当者のほか、しずおかフィナンシャルグループならびに山梨中央銀行の役職員、商工会議所、静岡県内大学関係者など約600名がオンラインを通じて参加し、観光産業の活性化による交流人口の増加など、地方創生に向けた情報を共有しました。

講演内容

- 講演 1
公益財団法人浜松市花みどり振興財団理事長 塚本 こなみ 氏
感動をお渡すために…
- 講演 2
山梨県南アルプス市長 金丸 一元 氏
中部横断自動車道を活用した観光プロモーション
- 講演 3
沼津市長 頼重 秀一 氏
沼津市の地方創生の取り組みについて



次世代経営者塾 Shizugin:ship ~経営者としてのスキルを磨き、生涯の友人と出会う場所

2022年度下期の活動実績 参加人数のべ **3,834**名 会員数 **682**社 **1,001**名 (2023年3月末現在)

内容	開催実績
全体フォーラム	1回
セミナー(著名な経営者や専門家の講演会)	10回
ゼミナール(テーマを定め深く学ぶ講座)	6講座12回
〈特別企画〉アオハルし放題(中・高校生とのコラボ企画)	1講座2回

ハイブリッドセミナー

「ふつう」ってなんだろう? ~発達障がいと生きる~

【開催日】2022年11月26日
【講師】エッセイスト・元TBSアナウンサー 小島 慶子 氏



参加者の声

- さまざまな個性をもつ人を認め、受け入れること、ともに困りごとを解決することが互いの力を引き出し、組織やチームの力を高めることにつながると感じた
- 家庭や会社での、自身の振る舞いを反省する機会になった

全体フォーラム

加速するデジタル変革に企業はどう取り組むのか ~デジタル人財の育成が経営の幅を広げる~

【開催日】2023年2月8日
【講師】日本アイ・ビー・エム(株)
代表取締役社長 山口 明夫 氏



参加者の声

- デジタル戦略における最新の考え方や今後のDXの展開を映像も交えてわかりやすい解説をしてくれて、理解を深められた
- 4年ぶりのリアル開催で、会員同士での交流を行うことができてよかった

※コロナ禍における開催形態としてハイブリッド形式を基本とし、感染拡大防止対策を講じたうえで会場での会員同士の交流を再開

しずおかキッズアカデミー ~地域の魅力や産業を楽しく学び、地域の未来を担う人材へ

地域の子どもたちが、ふるさとの魅力や産業を楽しく学びながら郷土愛を育み、地域を担う人材へ成長することを目的に開催しています。

キッズアカデミー「Yes!家康プロジェクト浜松」を開催

徳川家康公と浜松城にまつわる歴史学習、音声ガイドの製作およびおもてなしガイド体験を通じて、地域の魅力を体感してもらう「Yes!家康プロジェクト浜松」を全4回のプログラムで実施(浜松いわた信用金庫、遠州信用金庫、JAとびあ浜松との共同開催)

【テーマ】徳川家康と浜松の歴史を学んでガイドさんになろう!
【参加者】51名(浜松市内在住の小学4年生~6年生)

- 第1回 10月16日
浜松城周辺の歴史スポットについて学ぶ
- 第2回 11月6日
歴史スポットを紹介するガイド文章を作成



- 第3回 12月4日
伝わる話し方を学び音声ガイドを収録
- 第4回 1月29日
音声ガイド発表会とおもてなしガイド体験



地域貢献活動

地域文化の振興支援

地域における文化振興の支援を目的に、国内外の一流アーティストによるコンサートや日本の伝統話芸である落語会などを開催し、地域の皆さまにお楽しみいただいています。



第74回 藤田恵美 (2023年1月 三島市)



第27回 桂 宮治&林家つる子 (2023年2月 浜松市)

地域スポーツの振興支援

地域の子どものためのスポーツ活動を支援するため、「しずぎんカップ」としてサッカーと野球の大会に協賛しています。また、2023年度から、静岡県内のサッカーレベルのさらなる向上をめざして発足した年間リーグ「静岡県U-12リーグ【Sリーグ】」への協賛も行います。



しずぎんカップ(サッカー)



しずぎんカップ(野球)



金融経済教育

地域の小・中・高等学校の児童、生徒を対象とした「銀行見学会」や「金融講座」の実施をはじめ、高校生が経済や金融に関する知識を競う「エコノミクス甲子園」、中高生を対象にShizuginship会員との交流を通じたキャリア教育「静岡魅力探求プログラム『アオハルし放題』」を開催しました。また、静岡県教育委員会が実施する「高校生海外インターンシップ」に協力するなど、金融・経済に関する幅広い知識やノウハウを生かし、金融リテラシーを高める活動に積極的に取り組んでいます。



エコノミクス甲子園



アオハルし放題



高校生海外インターンシップ

営業のご報告

記載金額等は原則として四捨五入で表示しています。

しずおかフィナンシャルグループの決算(連結)をお知らせします。

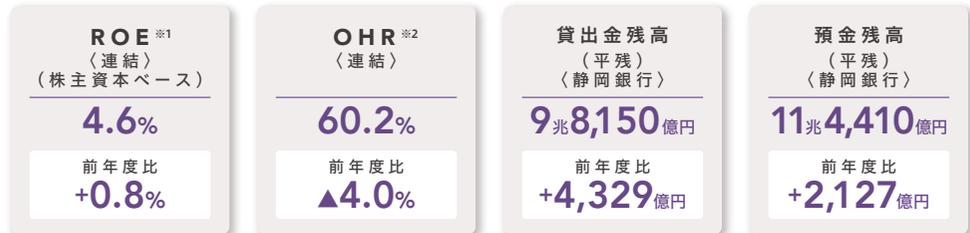
なお、2021年度以前の実績は、静岡銀行を親会社とする連結計数を記載、比較しています。

粗利益・業務純益・経常利益の推移(連結)

2022年度は、粗利益、業務純益いずれも増加し、経常利益は前年度比197億円増益の740億円となりました。



主な経営指標



※1: ROE (Return on Equity・自己資本利益率) / 自己資本を使ってどれだけ利益を上げたかを示す指標。この値が高いほど効率性が高い
 ※2: OHR (Over Head Ratio・経費率) / 一定の業務粗利益を得るためにどれだけ経費をかけたかを示す指標。値が低いほど効率性が高い

健全性を示す「自己資本比率」(国際統一基準)

自己資本比率(国際統一基準)は、バーゼル銀行監督委員会が定めた基準により、リスクに応じて計算した「資産(リスク・アセット)」に対する「自己資本」の割合を示す国際的な指標です。

2023年3月末の総自己資本比率(連結)およびCET1(普通株式等Tier1)比率は、バーゼルIII最終化によるリスクアセットが減少し、18.42%となりました。



株主の皆さまへ

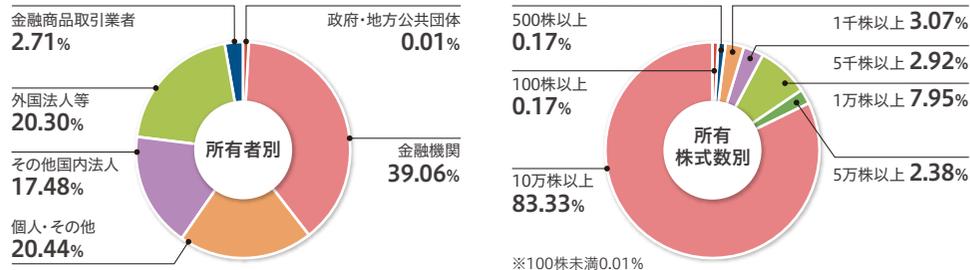
株式情報

2023年3月31日現在

株式の状況

株主数	24,349名 (2022年10月3日比 778名増)	発行済株式の総数	595,129,069株
		保有自己株式数	35,390,025株

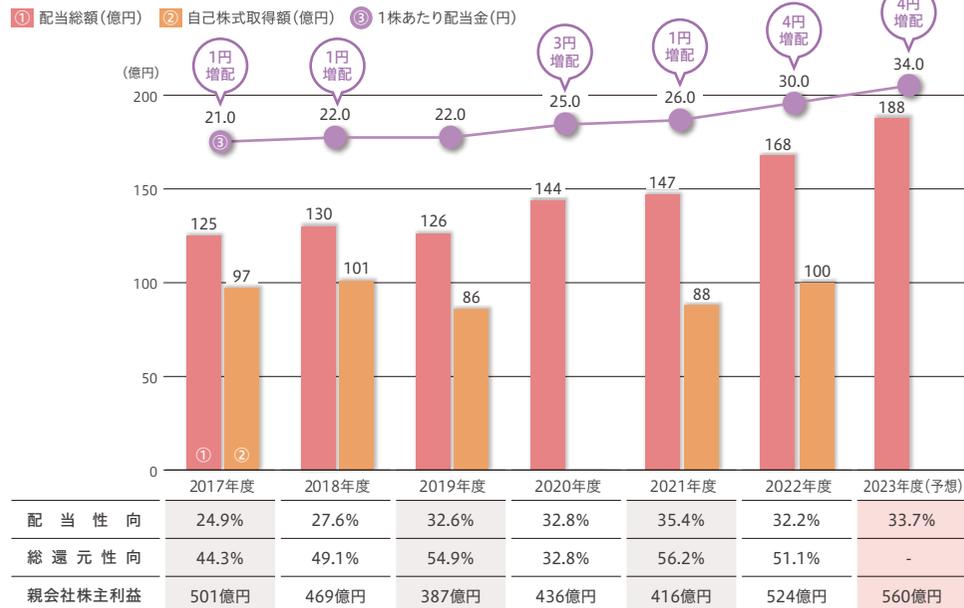
株式の分布状況(単元未満株式を含む)



株主還元状況

2027年度までに「配当性向40%以上」への累進的な引き上げをめざします。
2022年度の1株当たり配当金(年間)は30円とする予定です。
また、2023年度の1株当たり配当金(年間)は、2022年度から4円増配し34円を予定しています。

株主への利益配分の状況



※2022年度株主還元実績には、既発表済の自己株式取得(上限:100億円、期限2023年5月31日)を含む

(記載金額等は原則として四捨五入で表示しています。)

しずおかフィナンシャルグループが一体となって
多彩な金融ソリューションを提供します。金融業務
静岡銀行

地域のお客さまの課題やニーズにお応えするため、幅広い金融サービス・商品を提供します

経営コンサルティング業務
静岡経営コンサルティング

M&A、事業承継、経営相談、経営改善計画など、企業経営に関する幅広いコンサルティングニーズにお応えします

IT関連業務
静岡ITソリューション

グループ各社のIT戦略の実現を支援するとともに、地域のお客さまにITソリューションを提供しています

リース業務
静岡リース

さまざまな用途の機械・器具・設備や、建機、自動車のリースなど、お客さまの設備導入ニーズにお応えします

金融商品取引業務
静岡ティーエム証券

投資信託やファンドラップ、債券、株式など幅広い商品ラインアップにより、多様化・高度化するお客さまの資産運用ニーズにお応えします

ベンチャー・再生支援
静岡キャピタル

ベンチャー投資や事業承継、再生支援など、さまざまなファンドを活用して、地域の中小企業の支援に取り組んでいます

クレジットカード業務
静岡ディーシーカード

カード会員・加盟店に各種クレジットカード機能を提供し、利用者の利便性向上と地域の消費活動の活性化に取り組んでいます

クレジットカード業務
静岡セゾンカード

静岡での暮らしをサポートする「ALL-Sカード」など、地域の事業者と生活者をつなぐサービスを提供しています

金融商品取引業務
マネックスグループ

お客さまのライフスタイルを豊かにする未来志向のオンライン金融サービスを提供しています

金融商品取引業務
コモンズ投信

お客さまの資産形成を長期的に支援するため、投資信託などの商品・サービスを提供しています

経営コンサルティング業務
ターンザタイト

企業の決算書健全化に関するサービス等を提供し、キャッシュフロー改善や円滑な事業承継の実現を支援する社内ベンチャー企業です

人材派遣業務
ティージェイエス

長きにわたるソフトウェア開発と人材派遣実績をもとに、デジタル社会に対応した質の高いシステムと人材のニーズにお応えします

※お客さまに直接サービスを提供する会社を記載しています。

未来がはじまる場所になる。



しずおかフィナンシャルグループ



この印刷物には、環境に配慮した
植物油インクを使用しています。

本誌は、静岡県が制定した
「カラーユニバーサルデザインのための指針」を
参考に編集しています。